平成 29年　業種別労働災害発生状況

（平成29年 1月～12月末発生分【確定】）　　帯広労働基準監督署

区分 / 業種別		平成 29年 (確定)			平成 28年 同 期			対 前 年		本年分業種割合 (%)
		死亡	休業4日以上	合計	死亡	休業4日以上	合計	増減数	増減率 (%)	
全産業合計		11 (2)	466 (25)	477 (27)	10 (2)	487 (25)	497 (27)	-20	-4.0	100.0
除く鉱業計		11 (2)	466 (25)	477 (27)	10 (2)	487 (25)	497 (27)	-20	-4.0	100.0
製造業		1	87 (1)	88 (1)	2	96 (1)	98 (1)	-10	-10.2	18.4
内訳	食料品		62	62	1	63 (1)	64 (1)	-2	-3.1	13.0
内訳	木材木製品		4	4		10	10	-6	-60.0	0.8
内訳	紙・パルプ									
内訳	窯業・土石		5	5		3	3	2	66.7	1.0
内訳	金属・機械		8	8		14	14	-6	-42.9	1.7
内訳	その他	1	8 (1)	9 (1)	1	6	7	2	28.6	1.9
鉱業										
土石採取業		1	1 (1)	2 (1)		2	2			0.4
建設業		4 (2)	62 (6)	66 (8)	4	66 (2)	70 (2)	-4	-5.7	13.8
内訳	土木工事業	3 (2)	26 (3)	29 (5)	2	13 (1)	15 (1)	14	93.3	6.1
内訳	建築工事業	1	21 (2)	22 (2)	2	27	29	-7	-24.1	4.6
内訳	木造建築業		8	8		16	16	-8	-50.0	1.7
内訳	その他		7 (1)	7 (1)		10 (1)	10 (1)	-3	-30.0	1.5
道路貨物運送業		2	58 (6)	60 (6)	1 (1)	56 (8)	57 (9)	3	5.3	12.6
その他の運輸業			7 (1)	7 (1)		8	8	-1	-12.5	1.5
陸上貨物取扱業										
港湾荷役業										
林業		1	18	19		29	29	-10	-34.5	4.0
漁業			3	3		5	5	-2	-40.0	0.6
卸売・小売業			51 (2)	51 (2)		55	55	-4	-7.3	10.7
清掃業		1	12 (1)	13 (1)		18	18	-5	-27.8	2.7
その他の事業		1	167 (7)	168 (7)	3 (1)	152 (14)	155 (15)	13	8.4	35.2
内訳	農業		25	25		24	24	1	4.2	5.2
内訳	畜産業		48	48		35	35	13	37.1	10.1
内訳	接客娯楽業		26	26		20 (2)	20 (2)	6	30.0	5.5
内訳	農業協同組合	1	5	6		5	5	1	20.0	1.3
内訳	その他		63 (7)	63 (7)	3 (1)	68 (12)	71 (13)	-8	-11.3	13.2

※本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。

※（ ）内は、交通事故内数です。

平成２９年　死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
１月	13時台	その他の製造業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	ユニットハウス製造現場において、ユニットハウス屋根上（高さ２.６ｍ）から被災者が墜落し、意識不明の状態で発見され、後日死亡した。
３月	11時台	林業	激突され	立木等	自社有林の伐木作業中、昼休憩になっても被災者が戻らなかったことから同僚が捜索したところ、斜面横方向へ伐倒した木（樹高約２０ｍ、胸高径約４０ｃｍのシナノキ）の下敷きとなった状態で発見されたもの。被災者が伐倒木の下敷きになっていた位置と伐根の距離は約２.７ｍ。伐根には、くさび１本を使用した形跡が残されていたが、つるは残っていなかった。
４月	17時台	土石採取業	墜落、転落	階段、桟橋	被災者は、砂利プラント構内にある排水処理施設建屋内において、昇降階段上に俯せの状態で倒れているところを、同僚に発見されたもの。発見時、受水タンクへ注水していた水が溢れ出し付近は水浸しになっていた。
５月	10時台	ビルメンテナンス業	墜落、転落	はしご等	被災者は、ビルの管理人業務等を行う労働者である。当日は、天井裏にある空調設備のダイヤル設定（温度調整）を行うため、脚立（上から２段目の踏ざん、高さ１.１３ｍ）に乗り、天井の点検口に頭部を入れた体勢で作業していたところ、バランスを崩して仰向けに墜落し、後頭部を強打し死亡した。
９月	８時台	土木工事業	おぼれ	建築物、構築物	河川災害復旧工事現場において、被災者は、クレーン機能付きドラグショベルを使用した土のう設置作業に手元作業員として従事していた。 被災者は、土のうに親綱を固定し、ロリップ付きの安全帯を使用しながら魚道内（水深約３０ｃｍ）を下っていたところ、洗堀により魚道が傾いた際に出来た溝（幅約８０ｃｍ、水深約４００ｃｍ）に転落し溺水した。
９月	11時台	土木工事業	交通事故	トラック	国道維持管理工事現場において、台風１８号応急対策として農地沿いに設置していた小型土のうが不足したため、これをトラック（２ｔ平ボディ）にて資材置き場に取りに行く途中、暴風雨の影響で運転操作を誤り、反対車線側の路外（法面）まで逸脱し、案内標識に助手席側から衝突したもの。被災者ら３名はシートベルトを着用していなかったため、車外へ投げ出され、運転していた被災者は死亡、他２名は休業４日以上の負傷を負った。
９月	15時台	土木工事業	交通事故	乗用車、バス、バイク	被災者は、草地整備工事現場から店社事務所へ戻るため、社用車を運転して市道を直進走行中、交差点に進入してきた一般車両に運転席側から衝突され、その反動で助手席側から街路灯へ衝突し死亡した。

10月	12時台	道路貨物運送業	挟まれ、巻き込まれ	建設機械等	被災者は大型トレーラーの運転手であり、倉庫の外で積荷の籾殻を下ろす順番待ちをしていたが、何らかの理由により倉庫内に歩いて進入したところ、後進してきた同僚が運転するホイール式トラクター・ショベルの後輪に轢かれたもの。
10月	8時台	道路貨物運送業	激突され	建設機械等	被災者は、収穫された甜菜を輸送するダンプトラックの運転手である。 積み込み先農家の畑内において、地面にこぼれ落ちた甜菜を拾おうとしたところ、バケットを下げながら前進してきた他事業場の労働者が運転するホイール式トラクター・ショベルのバケットの下敷きになったもの。
10月	14時台	建築工事業	墜落、転落	足場	被災者は、ＲＣ造３階建集合住宅の屋上防水及び外壁塗装を行う改修工事のため、外部足場（枠組足場）の組み立て作業に従事していたところ、交差筋かいのない足場３段目から地上まで５．３m墜落し、二日後に死亡した。
12月	10時台	農業協同組合	墜落、転落	建設機械等	ホイール式トラクター・ショベルのバケットに労働者２名を乗せ、倉庫の外壁を張る作業を行っていたところ、バケット上から墜落した被災者が前輪に轢かれたもの。